

山形県に新たな! 農業ファシリテーター 誕生

～地域に開かれた農業を目指す～

やまがた
れいわ
ネクスト
アクション
News Vol.1




輝く女性が
地域農業を変える!

発行者: (一社)山形県農業会議
やまがたファシリテーター研究会
発行日: 令和 3年 8月 20日

山形県農業会議では、地域での話し合い活動を推進するため、合意形成型話し合い方式におけるファシリテーター(進行役)のスキルを活かし、「地域に開かれた農業」を推進する、「農業ファシリテーター」の養成を目指して、**第2期農業ファシリテーター養成研修会**を開催しました。(参加者24名)

令和3年7月30日に第2期の研修が終了し、山形県で新たな**農業ファシリテーター(初級)**が8名誕生しました。(うち5名が女性!) これで、**山形県の農業ファシリテーターは17名**となりました。



お祝いの「ドラゴンクエスト」を演奏!

「農業」と「地域」について 一緒に考え活動していこう!



「農業ファシリテーター(初級)」認定者 8名

小林 幸子(朝日町農業委員会 農業委員)
志藤 一枝(朝日町農業委員会 推進委員)
鈴木 兒子(米沢市農業委員会 農業委員)
青木 與惣右工門(長井市農業委員会 推進委員)

今田 供明(新庄市農業委員会 推進委員)
野口 みゆき(鶴岡市農業委員会 事務局)
杉浦 紫花(秋田大学)
高野 浩之(山形県農業会議)



第3回・第4回は初のオンライン(ZOOM)開催!



会議ファシリテーター普及協会
←エレガントな講師 小野寺先生

学んだのは・・・ 対話による協働のまちづくりのコツ

地域の人が〇〇に暮らせるまちをつくる
まちづくり成功の最先端の6つの考え方 (農業の課題にも!)

中山間地のまちづくり

課題解決の6つのポイント(6つの視点で身の丈で!)
課題解決の7つの段階 (座談会の前に必要なことは?)
課題解決の極意(課題解決型ではなく〇〇〇型で)



農業ファシリテーターとは「地域に開かれた農業の推進を担う人」のこと

農業の課題は農業者だけの解決は難しく、また、地域の課題も地域だけでは解決が難しくなっています。「農業者」と「地域住民」が一緒になって、「課題」について話し合っていくために、ファシリテーターの「対話のスキル」だけでなく、「まちづくりのスキル」も身に付けた人のことを「農業ファシリテーター」といいます。

★第2期 研修会内容

- 第1回 「全員発言する座談会(初級編)」
- 第2回 「全員発言する座談会(体験編)」
- 第3回 「まちづくりの基本」
- 第4回 「中山間地のまちづくり(基本編)」※まちづくりにおける課題解決の方法
- 第5回 「中山間地のまちづくり(実践編)」



研修会で学んだスキルを活かして!



やまがたの人・農地プラン「実質化」そして「実行」へ・・・

※山形県農業会議では、「やまがた地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」～れいわネクストアクション～の活動として、農業ファシリテーター養成研修会を開催しています。

第1期 農業ファシリテーター養成研修会については、
山形県農業会議HPの「れいわスタートダッシュ」のページに掲載しています!

<http://www.yca.or.jp/>

©2021 (一社) 山形県農業会議

